



写真:満開のシキミの花 (撮影:平成29年4月5日)

# 「シキミ」

「四季美」それとも「悪しき実」

**春**、暖かな日差しの中えびの岳のハイキングコースを歩いていると、フワッと素敵な香りがしました。見上げてみると、そこには満開のシキミの花。下ばかり見ていたら、うつむき加減に咲くこの花に気が付かなかったようです。

淡い黄色の花は透明感があり、太陽光を浴びなお美しく見えます。平地から山地まで広く自生するシキミ。花や葉、根など、木全体に毒を持つため、個体数が増えているシカからの食害は無く、えびの高原でもたくさんさんの株が見られます。

香辛料とされる八角に似た実には毒を多く含み、「悪しき実」からシキミとなった説や、四季を通して美しいので「四季美」という説もあり、和名の由来には諸説あるようです。

ようやく訪れる霧島山の春、地表にはハルリンドウやツルキジムシロ、見上げればキリシマミズキやシキミの花が鮮やかに彩り、私たちを楽しませてくれます。  
(文/えびのエコミュージアムセンター)

シキミ  
*Illicium anisatum*

アウストロバイレヤ目 マツブサ科

